



2027年2月期 第2四半期 決算説明資料

株式会社ジェイグループホールディングス(3063)
2026年10月9日

3063
Anniversary



会社名	株式会社ジェイグループホールディングス
本社所在地	名古屋市中区栄三丁目4番28号
設立	1997年3月3日
代表者	新田二郎(代表取締役会長) 林 裕二(代表取締役社長)
資本金	45百万円(2026年2月末日現在)
従業員数	グループ計1,684名 ※内正社員数474名(2026年8月末日現在)

子会社	株式会社ジェイフィールド 株式会社ボカディレクション 株式会社かわ屋インターナショナル 株式会社かわ屋東京 株式会社ジェイアセット NEW FIELD NEW YORK.LLC. 株式会社エッジオブクリフ&コムレイド 株式会社EOCブレイン 株式会社EOCクラシコ マウンテンコーヒー株式会社
-----	---

飲食サービス業を中心に関連事業を展開

当社グループは食文化を主軸とした総合サービス企業を目指し、飲食事業を中心に、不動産事業、およびその他関連事業を展開しております。



1. 連結決算概要

サマリー	5
連結損益計算書概要	6
連結貸借対照表概要	7
連結キャッシュ・フロー計算書概要	8
事業別数値	9
売上増減要因	10
営業利益増減要因	11
店舗数の推移	12
既存店前期比(売上高・客数・客単価)	13
収益構造の改善	14



2. トピックス

新規出店(Lamb Rack Tokyo)	16
新規出店(名古屋めし食堂 丸八 伏見別邸)	17
新規出店(お台所 六六堂)	19
新規出店(吟醸マグロ 仙台店)	21
高速道路事業	22
事業成長イメージと資金使途の優先順位	23
業態多角化に向けたポートフォリオ	24
今後の取り組み	25
株主優待の拡充	26
創業30周年記念「配当」「株主優待」の増額	27
代替商品のラインナップ	28
現在保有する主な不動産	29
社会貢献活動の取り組み	30
今期の業績見通し	31
野球部活動	32



1. 連結決算概要

1

前期比で減収減益となるも、以下の要因を除くと増収増益。

- ①前期に棚卸資産(不動産)の売却等を行った
- ②大型店舗2店舗の一時的閉店
- ③30周年イベント等に伴う一時的コスト発生

2

既存店 売上高 昨対比上半期累計が「103.2%」と大幅に伸長

客単価を安定的に伸ばすことができたことに加え、
昨年から課題だった客数も5月に「104.7%」、7月に「100.2%」と堅調に推移。

3

新規出店を加速

5月に「ラムラック東京」、9月に「丸八伏見別邸」、10月8日に「六六堂」「NO THINK」を出店。
10月20日に「吟醸マグロ 仙台」を出店予定。

4

M&Aした事業が好調

2025年1月にM&Aした株式会社EOC、2026年2月にM&Aしたマウンテンコーヒー株式会社が、
ともに、売上高・営業利益を伸ばして好調に推移。

5

株主優待拡充および創業30周年記念「株主優待」「配当」の実施

株主優待の大幅な拡充に加え、創業30周年の感謝を込めて
「記念株主優待(増額)」および「記念配当」を実施。

売上高:6,219百万円、営業利益:121百万円、純利益:62百万円

連結売上高は、前期の棚卸資産(不動産)の売却の影響、店舗の一時的閉店、30周年イベント等の一時的要因により前期比88.0%となる。営業利益も同様の要因により前期比44.4%となるが、これらの一時的な収益減少要因を除いた実質ベースでは増収増益となった。

(百万円)

	2026年2月期 第2四半期		2027年2月期 第2四半期		前年同期比 (%)
	実績	構成比 (%)	実績	構成比 (%)	
売上高	7,067	100.0	6,219	100.0	88.0
売上原価	2,564	36.3	2,156	34.7	84.1
売上総利益	4,503	63.7	4,063	65.3	90.2
販売管理費	4,229	59.9	3,942	63.4	93.2
営業利益	273	3.9	121	2.0	44.4
営業外収益	23	0.3	35	0.6	149.1
営業外費用	69	1.0	66	1.1	95.4
経常利益	227	3.2	90	1.5	39.7
特別利益	—	—	20	0.3	—
特別損失	26	0.4	3	0.1	12.4
税引前当期純利益	200	2.8	107	1.7	53.8
当期純利益	165	2.4	62	1.0	37.8

- 1 前期の棚卸資産(不動産)の売却の影響、店舗の一時的閉店、30周年イベント開催に伴う全社1日店舗を閉店した事により、売上高は、前期比88.0%の6,219百万円となる。
- 2 前期の棚卸資産(不動産)の売却の影響、店舗の一時的閉店、30周年イベント等により営業利益は、前期比44.4%の121百万円となる。
- 3 金利上昇に伴う支払利息が増加したが前期に発生した為替差損が当期は為替差益に転じたこと等により、前期比3百万円減少となる。

連結貸借対照表概要



(百万円)

	2026年2月期 期末	2027年2月期 第2四半期		2026年2月期 期末	2027年2月期 第2四半期
資産の部			負債の部		
流動資産	3,339	2,934	流動負債	1,928	1,856
現金及び預金	2,454	1,973 ¹	買掛金	306	385
売掛金	463	557	短期借入金 ※1	809	732
棚卸資産	144	141	その他	811	738
その他	276	262	固定負債	7,074	6,779
			長期借入金 ※2	5,532	5,230
			その他	1,541	1,548
			負債合計	9,002	8,635
固定資産	7,382	7,567	純資産の部		
有形固定資産	5,840	5,916	株主資本	1,743	1,874
建物及び構築物	1,754	1,722	資本金	45	109 ²
土地	3,915	3,915	資本剰余金	1,073	1,137
その他	170	277	利益剰余金	658	661
無形固定資産	396	374	自己株式	△34	△34
投資その他の資産	1,146	1,277	その他の包括利益累計額	△59	△62
			新株予約権	0	14
			非支配株主持分	35	39
			純資産合計	1,719	1,866
資産合計	10,722	10,502	負債純資産合計	10,722	10,502

1

借入金の返済が進んだこと、配当の支払等により、現金及び預金が減少。

2

新株予約権の行使により、資本金、資本剰余金の合計が、127百万円増加。

※1: 1年以内返済予定長期借入金を含む

※2: 資本性劣後ローンを含む

連結キャッシュ・フロー計算書概要



(百万円)

	2026年2月期 第2四半期	2027年2月期 第2四半期	ポイント
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,413	115	前期の棚卸資産(不動産)の売却、大型店舗(プラナスタイル、新九栄)の一時的閉店、および30周年イベント関連の費用等の影響により減少
投資活動によるキャッシュ・フロー	△216	△209	新規出店や店舗リニューアル等による有形固定資産取得に伴う支出等
財務活動によるキャッシュ・フロー	△115	△394	長期借入による収入:101百万円 長期借入金返済による支出:△599百万円 配当金の支払額:△59百万円
現金及び現金同等物の増減額	1,076	△485	
現金及び現金同等物の期首残高	1,561	2,350	
現金及び現金同等物の期末残高	2,638	1,865	

飲食事業

既存店舗の売上増加に加え、M&Aにより増収となる

売上高	:	4,986百万円	前期比	102.8%
営業利益	:	536百万円	前期差	0百万円

不動産事業

前期に行った自社保有商業ビル2棟売却の影響により減収減益となる

売上高	:	224百万円	前期比	16.9%
営業利益	:	27百万円	前期差	△594百万円

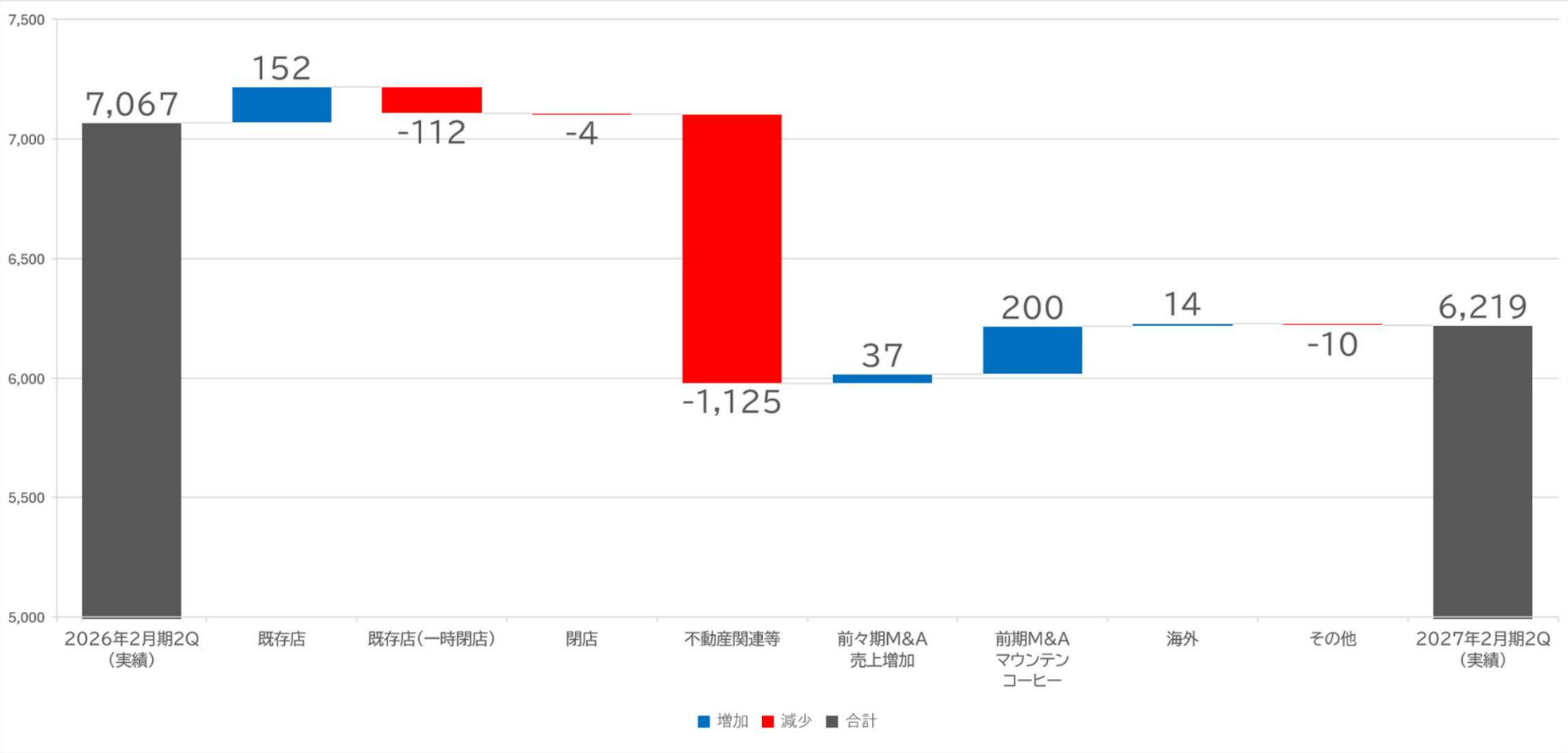
高速道路事業

運営している全3拠点の売上が好調に推移し、増収増益となる

売上高	:	873百万円	前期比	108.2%
営業利益	:	116百万円	前期差	27百万円

前期に実施した棚卸資産(不動産)売却の影響により、
売上高は減少(88.0%)となるも、棚卸資産(不動産)売却を除くと、前期比104.2%。
既存店や過去に実施したM&A、海外事業等が好調に推移し、既存事業は着実に成長。

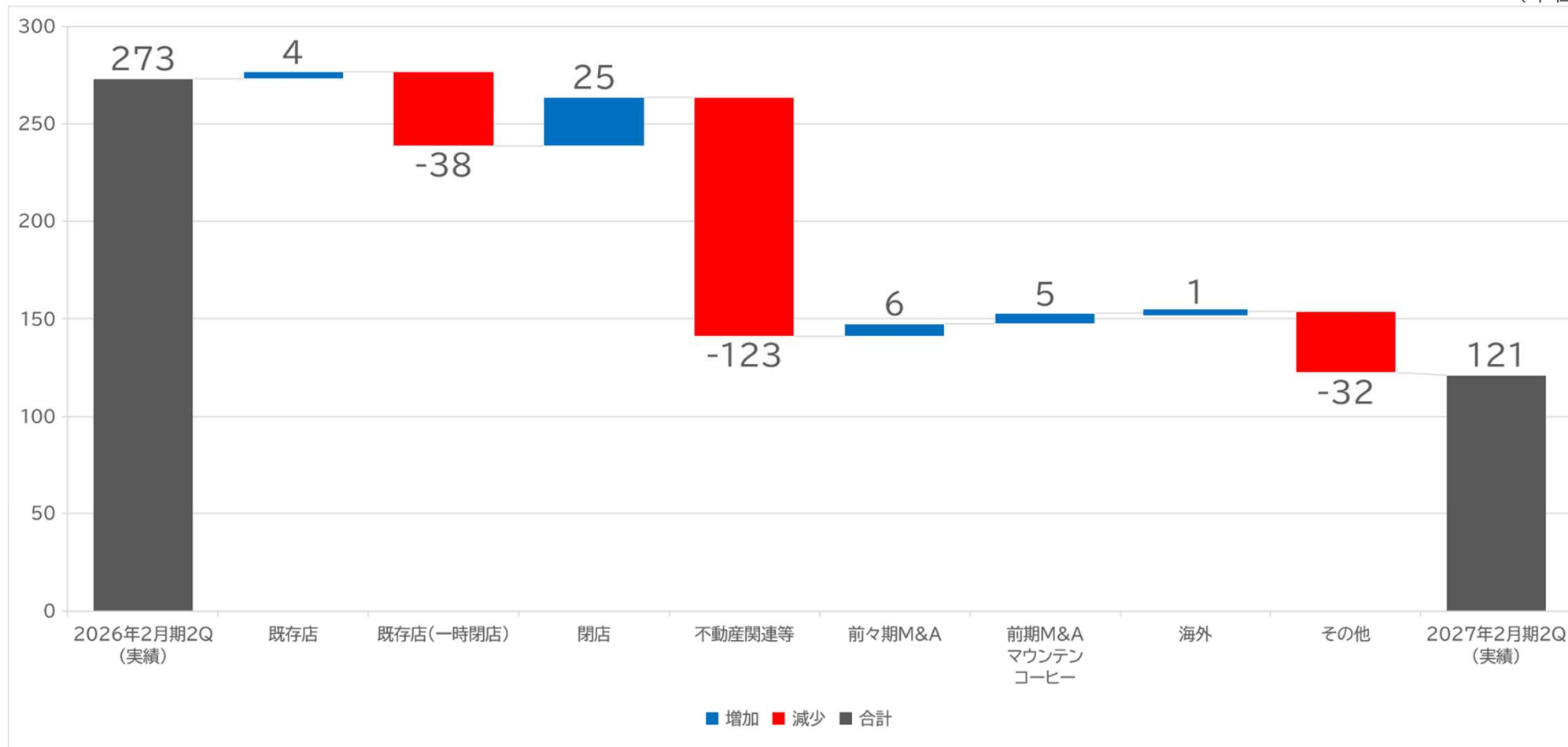
※「既存店」のうち、施設側の大型修繕に伴う一時的閉店(プラナスタイル)、名古屋本社1～3階の「新九栄」閉店及び新店準備で、
昨年6月～8月に129百万円あった売上が18百万円と減少。対象店舗を除く既存店は前期比103.2%と堅調に推移。(単位:百万円)



営業利益増減要因

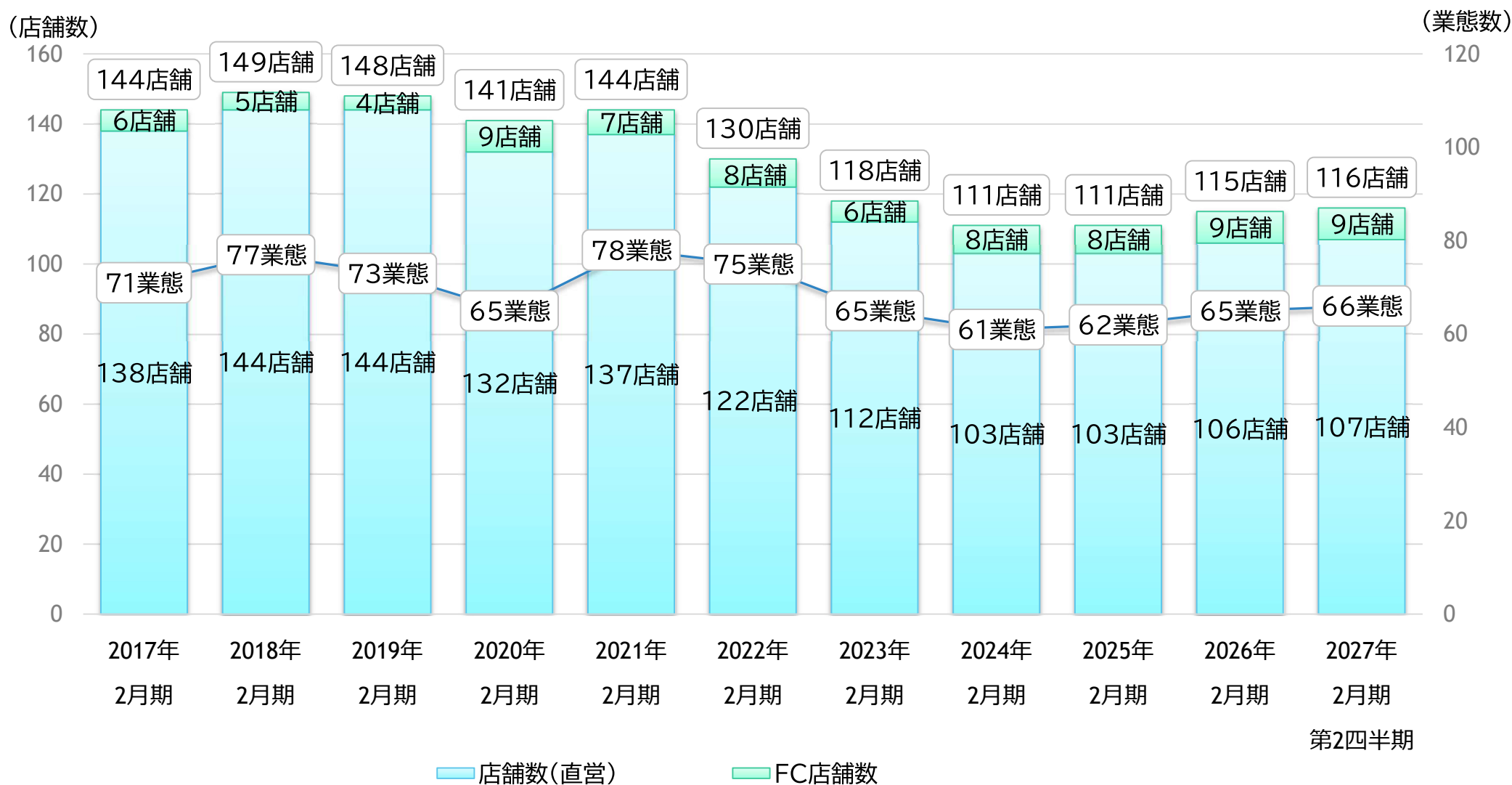
前期に実施した棚卸資産(不動産)売却等の影響、2店舗の一時的閉店、30周年イベント等により、営業利益は減少(44.4%)となるが、一時的な収益減少要因を除くと、既存店や前々期に実施したM&A等が好調に推移し、既存事業は着実に成長

※ 施設側の大型修繕に伴う一時的閉店(プラナスタイル)や名古屋本社1～3階の「新九栄」閉店及び新店準備による営業利益の減少や、「その他」に含まれる、30周年記念イベントの一時的なコスト増加やイベントに伴い営業を1日休業した事による利益減少が発生した。(単位:百万円)

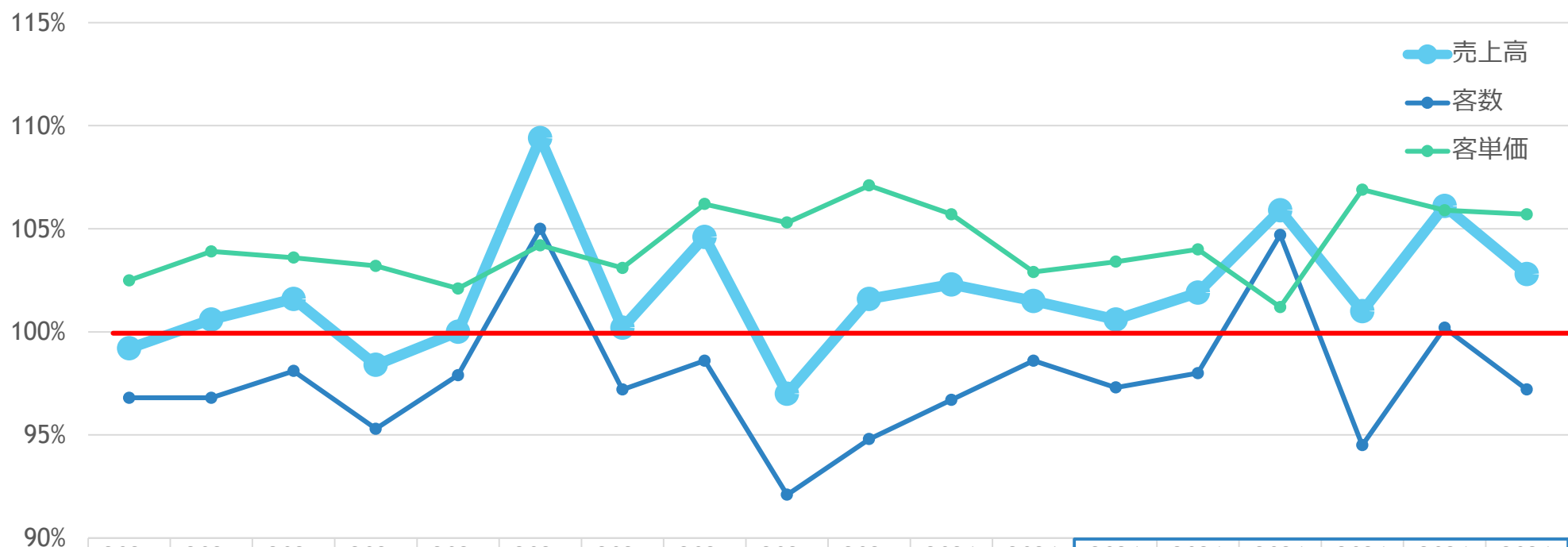


店舗数の推移

当期間中、新規出店1店舗(直営)、および業態転換2店舗を実施。
これにより、2026年8月末時点のグループ体制は66業態・116店舗となる



既存店前期比(売上高・客数・客単価)



売上高 : 第2四半期累計で「103.2%」となり、前年同期を上回って堅調に推移している。

客数 : 概ね98%前後で推移していたが、6月の台風や前期が良かった8月の反動減を除けば、5月以降は100%近くで推移するようになった。

客単価 : 第2四半期累計「104.5%」と、期を通じて安定して前年超えを維持。

売上高の増加に伴い販管費率は抑制傾向にあるものの、高速道路事業の売上拡大に伴う原価率の上昇や、店舗一時閉店中の人件費負担、天候不順による減収等の影響を受け、原価率・人件費率はともに上昇。営業利益を押し下げる要因となる。

「原価率」

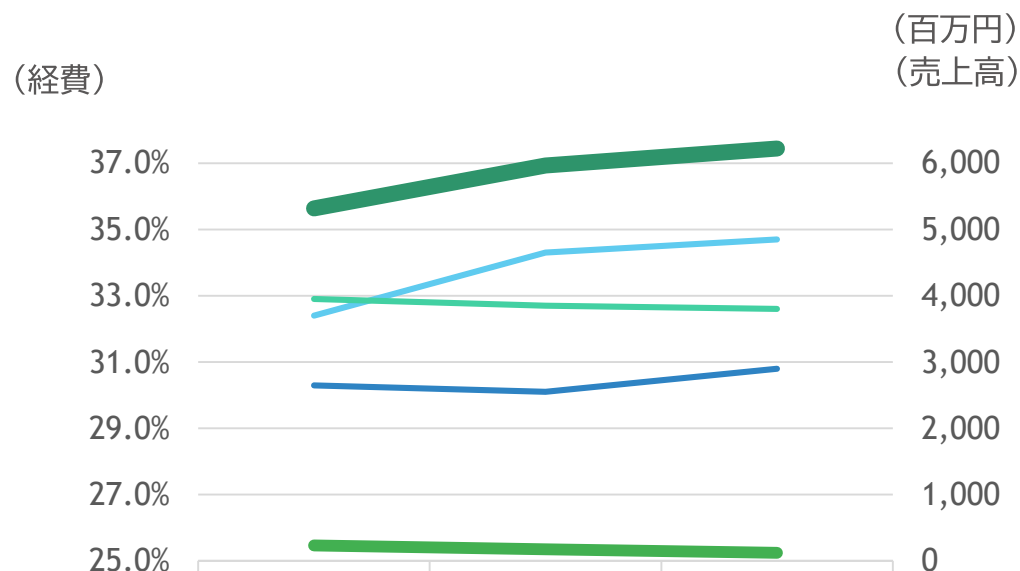
仕入価格の高騰や高付加価値商品の提供拡大により上昇傾向。メニュー改定や値上げ等により調整を実施。(清水PAによる、原価率押し上げの影響は「1.1%」)

「人件費率」

最低賃金の上昇や、給与水準の引き上げ等により人件費総額は増加しているが、今期は、売上高の増加に伴い、人件費率としては抑制できている。一時的閉店の2店舗が、人件費比率を上げている。

「販管費率」

賃料・水道光熱費・消耗品費等値上げが継続しているが、売上高を伸ばすことで、比率としては抑制できている。



	2025年2月期 第2四半期	2026年2月期 第2四半期	2027年2月期 第2四半期
原価率	32.4%	34.3%	34.7%
人件費率	30.3%	30.1%	30.8%
販管費率 (人件費除く)	32.9%	32.7%	32.6%
売上高	5,316	5,964	6,219
営業利益	234	174	121

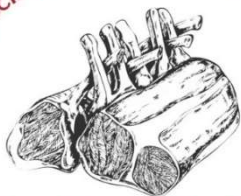


2. トピックス

新規出店 (Lamb Rack Tokyo)

2025年1月に新たに仲間になった、
株式会社エッジオブクリフ&コムレイドの新店をオープン

Specialty Lamb Grill Restaurant

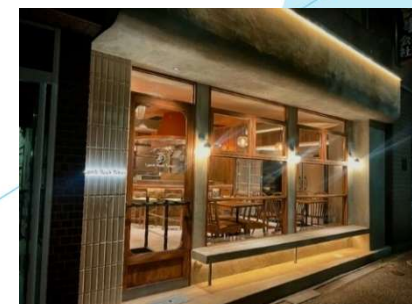


Lamb Rack Tokyo

「Lamb Rack Tokyo」
(ラムラック東京)

オープン日: 2026年5月21日
店舗サイズ: 28.1坪
席数: 36席

ちょっと特別な“肉体験”を楽しめる【ラム肉専門店】！
多彩な部位を炭火でじっくり焼き上げ、
テーブルでカットして仕上げるライブ感が自慢です。
レトロモダンな店内は、宴会やデート、接待など
幅広いシーンにぴったり！



新規出店（名古屋めし食堂 丸八 伏見別邸）①

名古屋観光ホテル内に、3店舗目となる、名古屋めしの有名店が一つのお店に集まるフードホールをオープン

名古屋めし食堂

丸八

名古屋
名物

— 伏見別邸 —

オープン日:2026年9月17日

店舗サイズ:141.1坪

席数:170席

名古屋で行列が絶えない人気店が大集結。各店のお料理をご注文いただけ、名古屋名物を心ゆくまでご堪能いただけるお店です。
人気の串揚げ店「串BISTRO92」も食堂内に個別に出店しています。



新規出店（名古屋めし食堂 丸八 伏見別邸）②

本物の名古屋めし、4ブランドの魅力を集約

矢場とん



名古屋名物みそかつ



矢場味仙



台湾ラーメン



世界の山ちゃん



幻の手羽先



備長ひつまぶし



炭焼きひつまぶし



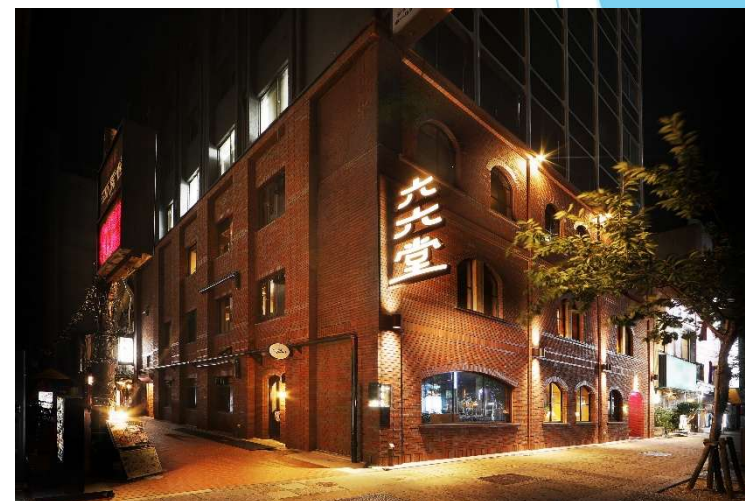
新規出店（お台所 六六堂）①

本社ビルの1階～3階に、
自社の新たなフラッグシップ店舗をオープン



オープン日: 2026年10月8日
店舗サイズ: 113坪
席数: 150席

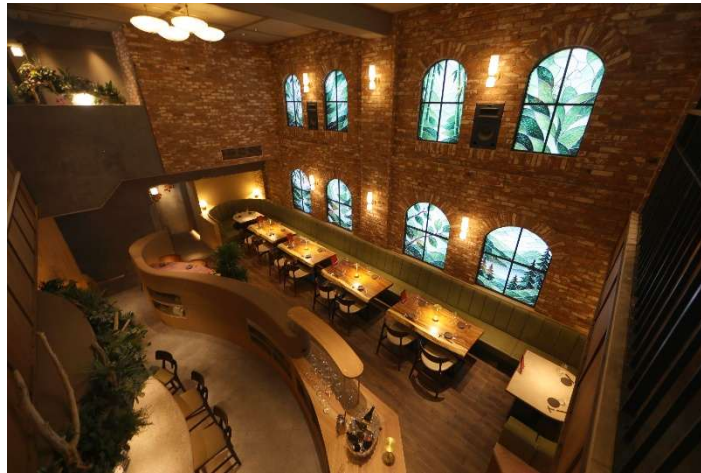
ワインを愉しみながら、旬の鮮魚や野菜、肉を和食を軸に洋の感性を織り交ぜた一皿に仕立てます。全3フロア、150席の大型店舗。
かつての金庫室を生かしたワインセラーでは実際に中に入って、お好みの一本をお選びいただけます。
料理を味わい、グラスを交わし、語らう。フロアごとにコンセプト異なる空間を心ゆくまでお楽しみください。



新規出店（お台所 六六堂）②

本社の足元から、新しい食体験を

名古屋本社1階～3階 3フロア 150席の旗艦店



スタンディングで気軽にお酒が飲めるバーを併設しています。



かつての金庫室を生かしたワインセラーでは
実際に中に入って好みの一本をお選びいただけます



新規出店（吟醸マグロ 仙台店）

人気ブランド「吟醸マグロ」の7店舗目がついに、東北エリアに初出店(予定)！

マグロ・日本酒専門
吟醸マグロ

オープン日:2026年10月20日(予定)
店舗サイズ:44.1坪
席数:64席

仕入れからこだわる旨いマグロの刺身が看板メニュー。
宮城の地酒と全国の日本酒がセルフ飲み放題で楽しめる「日本酒利き酒プラン」が名物の日本酒専門店です。和の料理の数々と珍しい日本酒にも出会えるお店です。



高速道路 SA・PA事業は、前年の好調を上回り堅調に推移

- ・ 大阪・関西万博が開催された前年の業績を超えて推移している
- ・ 大津SA・清水PAは、上半期すべての月で前年実績を上回る推移



大津SA(下り線)

飲食・物販を含む一棟運営



清水PA(上下集約)

駿河楽市/清水しぞ〜か物産展



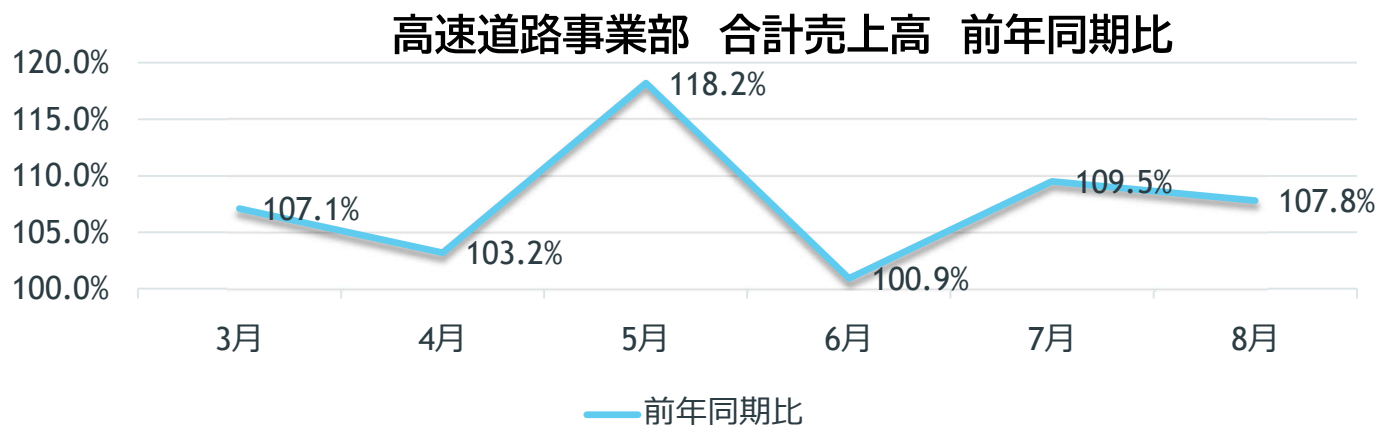
川島ハイウェイオアシス

フードコート かわしまファーマーズ

上半期累計売上高前年同期比

清水PA:116.3%
大津SA:106.3%
かわしま:99.9%

清水PA、大津SAは前年実績を大きく上回って推移しているものの、川島ハイウェイオアシスは天候不順等の影響を受けて前年実績をわずかに下回る結果となっている。



事業成長イメージと資金使途の優先順位

2026年2月期 営業キャッシュ・フロー 1,610百万円

2025年2月期 営業キャッシュ・フロー 835百万円

安定した利益を確保できており、それらを成長投資に優先的に振り分けることにより更なる経営の安定化を図る

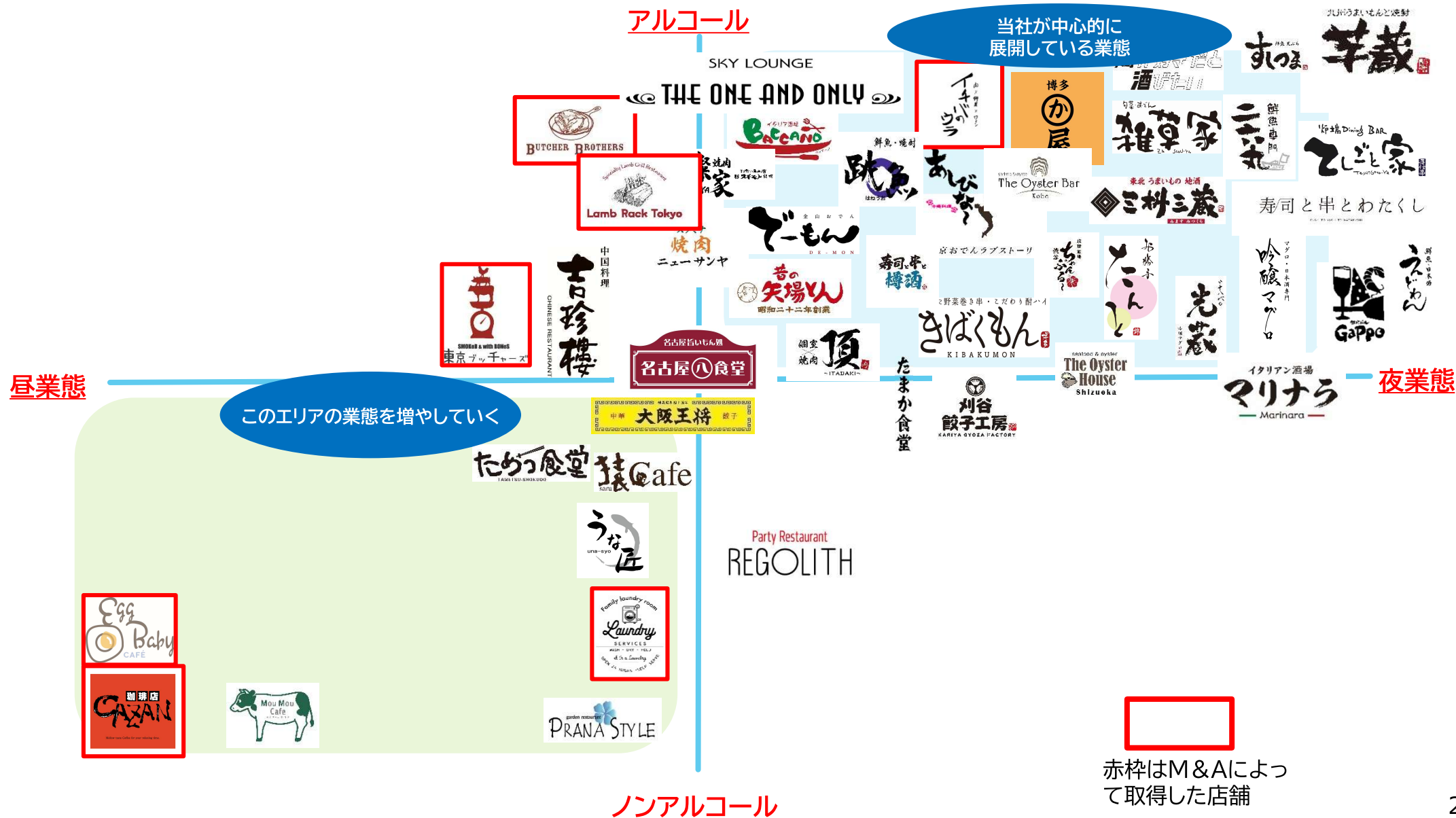
資金使途の優先順位

① 事業成長投資	② 優先株償還	③ 普通株主様への還元	④ 有利子負債返済
M&A 新規出店 新規事業	A種優先株 3億円 B種優先株 5億円	株主優待はすでに拡充済み	ネット有利子負債 (2026年2月末時点) 有利子負債一現預金 $6,342\text{百万} - 2,454\text{百万}$ $= 3,888\text{百万}$

※有利子負債6,342百万のうち、2,539百万は、保有不動産3棟およびM&Aした会社の保有土地に付随するものであり、2026年2月末簿価は4,597百万となっている。

業態多角化に向けたポートフォリオ

主力業態以外の領域においてM&A等を実施し、ポートフォリオの多角化を進める



今後は積極的に投資を行い、事業ポートフォリオの多角化、既存事業の強化、既存ブランドを活用したFC展開等を進めていく

今期進捗

1. M&A

前期に引き続き、積極的にM&Aを実施し事業ポートフォリオの多角化を目指す。

2. 既存店舗の大型リニューアル

老朽化した店舗を今のトレンドに合わせてリニューアルし、集客力アップを図る。

8月「Meat&」

3. 新規出店

既存ブランドを中心に新規出店を行い、ブランド強化を図る。

5月「ラムラック東京」
9月「丸八伏見別邸」
10月「六六堂」「NO THINK」
10月「吟醸マグロ仙台」

4. FC事業強化

新しく、FC加盟店開発部を立ち上げ、「かわ屋」をはじめ、「昔の矢場とん」や既存ブランドのFC化を進め、加盟店を増やす。

かわ屋の新FC店を出店予定

5. 海外展開

NY以外の海外についても、展開を進めていく。



今まで以上に、株主様への還元を増やすべく 株主優待制度を大幅に拡充

変更前(従来 of 優待内容)

所有株式数	贈呈内容
100株以上200株未満	株主優待御食事券2,000円分(1,000円券×2枚)を年2回
200株以上600株未満	株主優待御食事券4,000円分(1,000円券×4枚)を年2回
600株以上1,000株未満	株主優待御食事券8,000円分(1,000円券×8枚)を年2回
1,000株以上	株主優待御食事券12,000円分(1,000円券×12枚)を年2回

変更後(2026年8月末時点の株主名簿に記載された株主様より適用)

所有株式数	贈呈内容
100株以上200株未満	株主優待御食事券2,000円分(1,000円券×2枚)を年2回
200株以上300株未満	株主優待御食事券4,000円分(1,000円券×4枚)を年2回
300株以上500株未満	株主優待御食事券7,000円分(1,000円券×7枚)を年2回
500株以上600株未満	株主優待御食事券13,000円分(1,000円券×13枚)を年2回
600株以上1,000株未満	株主優待御食事券15,000円分(1,000円券×15枚)を年2回
1,000株以上	株主優待御食事券25,000円分(1,000円券×25枚)を年2回

株主の皆様の日頃のご支援に感謝し、創業30周年記念配当の実施
および株主優待の増額を実施

「配当+1.00円」 及び 「株主優待+1,000円」 を増額

配当予想(30周年記念配当の内訳)

	第2四半期末	期末	合計
前回予想	2.00円	2.00円	4.00円
30周年記念	1.00円		1.00円
合計	3.00円	2.00円	5.00円

記念株主優待の贈呈内容(2026年8月末時点の株主名簿に記載された株主様を対象)

所有株式数	通常の株主優待	30周年記念株主優待	合計
100株以上200株未満	御食事券2,000円分	御食事券1,000円分	御食事券3,000円分
200株以上300株未満	御食事券4,000円分	御食事券1,000円分	御食事券5,000円分
300株以上500株未満	御食事券7,000円分	御食事券1,000円分	御食事券8,000円分
500株以上600株未満	御食事券13,000円分	御食事券1,000円分	御食事券14,000円分
600株以上1,000株未満	御食事券15,000円分	御食事券1,000円分	御食事券16,000円分
1,000株以上	御食事券25,000円分	御食事券1,000円分	御食事券26,000円分

株主優待券の利便性向上に向け、
利用可能店舗の拡大および代替商品ラインナップの強化を適時実施

代替商品拡充

- 2026年2月末にM&Aした、マウンテンコーヒー株式会社の商品を新たに追加。
- 株主優待の増額に伴い、高額のコースを新たに追加。

➤ 4,000円コース

- 【新】マウンテンプレミアムブレンド
- 猿Cafeブレンド
- 新九の紫(焼酎)720ml
- カタログギフトA



➤ 8,000円コース

- 本場さつまあげ大盛セット
- 新九の紫(焼酎)1800ml
- カタログギフトB

➤ 12,000円コース

- 星空の黒牛焼肉
- 愛知みかわ豚しゃぶしゃぶ・生ハンバーグセット
- カタログギフトC

➤ 【新】24,000円コース

- 松阪牛 すき焼き 肩500g 肩ロース500g 合計1kg
- カタログギフトD



保有する商業ビル・レジデンスの流動化及び有効活用を進める

現在保有する主な不動産(3件)



EXIT NISHIKI



J-Group 本社・新九



ジュール則武

上記不動産(3件)の2026年8月末簿価は3,863百万円。
これらの不動産に付随する有利子負債は2,072百万円であります。

過去売買実績

年月	売買	不動産
2019年2月	売却	J-Growth 大曽根
2020年1月	売却	G-SEVENS 刈谷
2020年7月	売却	ダイヤモンドウェイ
2020年7月	売却	物流センター
2020年7月	売却	ジュール広川
2021年4月	取得	J-Group本社ビル
2021年9月	売却	ジュール亀島
2025年5月	売却	jG金山
2025年5月	売却	ジェイチル名駅

各方面で、社会貢献活動を積極的に推進

ブラジルのコーヒー農園における森林植樹活動

マウンテンコーヒー株式会社では、ブラジルの「ダ・ラゴア農園」にて、2018年より植林プロジェクトを立ち上げ、毎年約6,000本の植樹を実施。

同農園は、ブラジル・ミナスジェライス州のマタ大西洋熱帯雨林とセラード生物群の移行地域に位置し、持続可能なコーヒー生産を行いながら在来動植物を保護するため、再植林を積極的に推進している。

マウンテンコーヒーは、コーヒー生産と自然環境の調和を目指し、このプロジェクトに取り組んでいます。



高速道路 産学連携

新東名高速道路・清水PAにて、地元の静岡県立沼津西高等学校と、地域土産品パッケージデザインによるオリジナルブランドの構築活動を展開。

2025年は「桜えび塩クッキー」のジャケット制作。

今年度は、静岡県をモチーフにしたミニタオルを制作しガチャガチャアイテムとして、2026年12月より清水PAにて販売を開始予定。



ワンアンドオンリー 中学校コラボメニュー

地元の中学校の「総合的な学習の時間」にて生徒が新商品を考案し、企業訪問でのプレゼンテーションを経て、当社が運営する店舗にて実際のメニューとして展開する取り組みを実施。

また、当社のメンバーが中学校を訪問し、料理講習会など教育支援活動も継続して実施。

今期の業績見通し



(百万円)

	2026年2月期 通期実績	2027年2月期 業績予想	前年比 (%)
売上高	13,045	13,300	101.9%
営業利益	420	450	107.0%
経常利益	353	370	104.7%
親会社株主に帰属する当期純利益	312	320	102.5%
配当金	中間 2.0円 期末 2.0円	中間 3.0円 ※ 期末 2.0円(予想)	

※通常配当2.00円 + 創業30周年記念配当1.00円の合計3.00円。

今期、前巨人1軍ヘッド兼打撃チーフコーチ二岡智宏を新監督に迎え、チーム強化を進めてまいりました。都市対抗野球予選、は代表決定戦に3度進みましたが、惜しくも本戦出場を逃す結果となりました。来期は新たな選手を迎え、2020年以来となる都市対抗本戦出場と本戦での1勝を目指します！



二岡智宏
13年限りで現役を引退
15年オフに巨人2軍打撃コーチ
17、18年:1軍打撃コーチ
19年:BC富山監督
20年:巨人3軍総合コーチ、3軍監督
22・23年:2軍監督
24年:1軍ヘッド兼打撃チーフコーチ
25年限りで巨人を退団



【IRに関するお問い合わせ先】 株式会社ジェイグループホールディングス 管理本部 IR担当 TEL:052-243-0026

当資料は株式会社ジェイグループホールディングスが作成したものであり内容に関する一切の権利は当社に帰属しています。

複写及び無断転載はご遠慮下さい。当資料は当社が現在発行している、また将来発行する株式や
債券等の保有を推奨することを目的に作成したものではありません。

また、当資料は当社が信頼できると判断した情報を参考に作成していますが当社がその正確性を保証するものではなく、
事業計画数値に関しても今後変更される可能性があることをご了解下さい。